

2018 年度事業報告

2018 年度は島根の地震に始まり、大阪北部地震、西日本豪雨、台風 21 号による災害、北海道地震など災害が多発した年でした。救援金の総額も東日本大震災に次ぐ金額となりました。

昨年は個人に対するお見舞金配布を大規模な形で行うというゆめ風基金として初めての取り組みをしましたが、事務が追いつかないなど課題も多く、今後どうするかは全体で話し合いが必要です。

現在南海・東南海地震をはじめとする災害への脅威は増えています。ゆめ風基金では災害に対する次世代リーダー養成のため、2017 年度から「障害者防災リーダー養成講座」を開講し、機関誌においても「南海・東南海地震に備え、どうするか」という連載を始め対策を強化してきました。

また家具転倒防止の取り組み、「りすくのつく」も立ち上げられ障害者個人の防災対策の教にも取り組みました。

かねてからの懸案だった中学生プロジェクトの DVD が 2018 年度ようやく完成し、現在広報に力を入れているところです。

以下に今年度の具体的活動をご報告します。

1. 被災障害者救援事業

(1) 大阪北部地震

2018 年 6 月 8 日（月）に大阪北部地震が発生し、当日夜にはおおさか災害支援ネットワークの会議が開かれました。おおさか災害支援ネットワークは 4 年前より災害が起こったときに顔の見える関係で協力して支援を行おうと作られた団体です。また同じ週の金曜には大阪障害者救援本部会議も開かれ、被災にあった茨木の報告を始めとする報告会議と今後の支援の検討が話されました。ゆめ風基金としては、障害者の方や障害者事業所に SOS ビラを作って配布するとともに、これまでの団体支援に加えて個人への見舞金を配布することを決めました。

大阪穂首地震に支出した救援金

社会福祉法人ぽぽんがぽん(大阪北部地震)	¥2,812,873
一般社団法人くらしといきがい・にじ(大阪北部地震)備品購入	¥133,207
レスキューアシスト(大阪北部地震)ブルーシート張り活動費	¥600,000
社会福祉法人花の会(大阪北部地震)グループホーム修復費	¥475,000
社会福祉法人鳩ヶ峰福祉会やわた作業所(京都府八幡市)	¥1,500,000
個人見舞金 82 件	¥4,100,000
合計	¥9,621,080



ぽぽんがぽん

(2) 西日本豪雨

2018年7月には西日本を中心として大雨が振り続け、大きな被害をもたらしました。

ゆめ風基金では大阪北部地震の支援も続く中で、岡山、広島、愛媛の3県に入り込み、状況の把握と今後の支援のあり方を検討しました。広島や愛媛においてはゆめ風ネットである広島のごーす、ネット尾道、愛媛のムゲン、自立生活センター松山などが活躍してくれ、情報の収集とともに様々支援の手助けをしてくれました。

ただ豪雨被害のあった範囲が広く、今後協力会員なども求めて幅広いネットワークで支援をしていく必要性も痛感しました。

西日本豪雨に支出した救援金

共同連えひめ(西日本豪雨)作業所の備品購入費	¥1,444,000
放課後等デイサービスホタル(倉敷市)事業停止中の運営費(西日本豪雨)	¥646,500
野村福祉園 レインボーアグリ(愛媛県西予市)備品購入費(西日本豪雨)	¥608,850
NPO 法人岡山マインド「こころ」グループホーム新設費用(西日本豪雨)	¥5,000,000
NPO 法人歩(西日本豪雨)車両購入費	¥1,250,000
西日本豪雨お見舞金(714件)	¥35,700,000
合計	¥44,649,350

ただ今なお再建計画が立たず、計画が決まってから申請をするという事業所も3件ほど聞いています。



愛媛 レインボーアグリのあった場所



岡山県真備町 ホタル

(3) 北海道地震

2018年9月には北海道の胆振地方を中心に大地震が発生し、札幌市内でも液状化現象により、作業所の移転を迫られるなど障害者拠点が被害を受けました。

ネット札幌である草の実福祉会の手塚さんが早速現地に視察に入っただき、新玄武付近ではゆめ風基金をしての支援は必要ないだろうとの報告を受けました。災害が続く中で、現地に入ることもできずに、関係者をたどり被害の調査を進めました。北海道全体が大停電に見舞われ、呼吸器を使用する障害者の方の安否も心配されましたが、なんとかそれぞれの方法(病院や停電のない知人宅に行くなど)で難を逃れているようでした。

それでも5件ほどの障害者拠点で被害があると聞き、連絡を取りゆめ風基金へ申請してもらおうことになりましたが、2017年度はそのうち3件の救援金支出を決めました。

北海道地震に支出した救援金

かがやき工房（北海道地震）お見舞金	¥500,000
NPO 法人せたな共同作業所ふれんど（北海道地震）オープン修理費	¥324,000
就労継続支援ベジタブル 移転にともなう改修費と備品など	¥983,608
合計	¥1,807,608

（４）島根地震と台風 21 号による被害

2018 年 4 月 9 日に発生した島根地震ではネット島根の太田さんが迅速に動いてくれ、避難所周りや事業所の調査をしていただきました。特に事業所の被害はないということでしたが、1 件個人の方が避難所で困っておられるということだったので、お見舞金を支給することを決定しました。

2018 年 9 月に上陸した台風 21 号は大阪を中心に大きな被害をもたらしました。大阪の各地で大木や電柱がなぎ倒される被害があり、停電も多数発生しました。障害者拠点の中には屋根が丸ごと吹っ飛んだところもありましたが、現在再建計画を検討中とのことで、2017 年度の障害者拠点への支出はありませんでした。

ただ生活保護を受けている障害者個人で洗濯機が倒れ壊れてしまったということがあり、あらたな洗濯機（中古）の助成をしました。

島根地震による個人支援金(ネット島根)1 人分	¥50,000
台風被害個人支援(洗濯機)	¥38,988

（５）東日本大震災

東日本大震災から 8 年がたちました。いまなお被災地では避難者数は約 5 万 8 0 0 0 人（2018 年 8 月現在）で、岩手・宮城・福島 of 被災 3 県でプレハブの仮設住宅に暮らす被災者は 5 6 2 3 人、みなしも含めた仮設住宅で生活している人が多くいる状況です。

被災地では復興庁が支援を 10 年で打ち切りとしている「10 年問題」が突き付けられています。

東日本大震災については近畿労働金庫がサポート V という預金金利の 2 倍額を 10 年間にわたり支援を行う商品を発売していただいております、この寄付をあしなが育英会とゆめ風基金にいただいております。（2018 年度 530 万円）

2017 年度救援金は 5 件中 3 件が福島となっており、福島での復興がまだまだであることがわかります。

2017 年度救援金 9, 102, 085 円累計額 333, 854, 224 円

NPO 法人あおば(福島県福島市)作業所改修費	¥5,000,000
およれんせの会(岩手県宮古市)備品購入費等	¥610,085
障がい者ベース石巻によっきり団(石巻市)運営資金(東日本大震災)	¥900,000
NPO 法人輝きサマじょう(福島県川内村)工事費と人件費(東日本大震災)	¥1,592,000
NPO 法人ふよう土 2100(福島県郡山市)(東日本大震災)	¥1,000,000
合計	¥9,102,085

(6) 熊本地震

2017年に障害者とともに暮らせる地域創生館ができました。熊本を支援する関西事項委員会による人的支援も2018年3月で終了し、その後は熊本地震による支援と、自前の資金による運営を目指してヘルパー派遣業務を2018年からはじめました。

しかし人材の定着は見られず、これまでの蓄えもなくなったことから、2019年の黒字化を目指し、計画案とともにそれまでのつなぎ資金の支援がゆめ風に寄せられました。

熊本の運営を担うスタッフにも来てもらい、説明を受けた上で730万円の救援金支出を決めました。

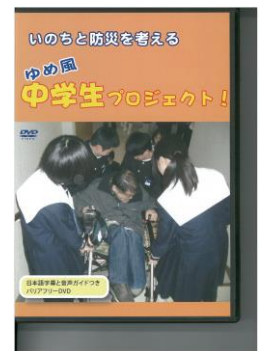
2017年度救援金 7,300,000円累計額 55,889,744円

一般社団法人障害者がともに暮らせる地域創生館（熊本市）運営費	¥7,300,000
--------------------------------	------------

2. 障害者防災活動支援事業

(1) 中学生プロジェクトのDVDが10年越しにようやく完成しました。

1000枚製作し発売開始しました。新聞、ラジオなどで情報発信し、ゆめごよみ読者、学校関係者、関係団体にちらしを配布するなど拡散中です。



講演活動、ワークショップ

○障害者防災リーダー養成講座

2018年度も2017年に引き続き「障害者防災リーダー養成講座」を横浜、大阪で2ヶ所で開催しました。

障害者防災リーダー養成講座

ゆめ風基金ではこれまで大規模な自然災害に備えるため、神戸の障害者施設を皮切りに、災害時に障害者が取り残される状況を防ぐべく、ゆめ風基金が中心となり、各自治体の障害者支援センターと連携し、災害時の避難支援を行うための講座を開催してきました。今年度も、各自治体の障害者支援センターと連携し、災害時の避難支援を行うための講座を開催しました。

2018年2月7日(水)
10:30~16:00
障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール
〒220-0001 横浜市磯子区磯子1-131
TEL:045-476-2000(相談は別室)

一 講師 一
八幡 健明 認定NPO法人ゆめ風基金 理事・事務局長
水谷 真 社会福祉法人A.U.J.自立の家、わだちコンピュータハウス所長

対象 障害者支援センターに属している方、自治体法センターに属している方、また、障害者支援センター一環に属している方

参加費 500円(資料代)
定員 定員になり次第締め切らせていただきます

プログラム
10:30 集合時間と受付
11:00 林 避難時に求められるもの
12:00 林 避難時の準備
13:00 林 避難時の準備(避難センターの運営について)
14:00 林 避難時の準備(避難センターの運営について)
15:00 林 避難時の準備(避難センターの運営について)
16:00 林 避難時の準備(避難センターの運営について)
17:00 終了



○避難体験とBCPづくり

ゆめ風基金が中心となって役割を担ってきたBCP研究会において災害時に学校の体育館に避難した場合何が困るかということ想定し、箕面市萱野の人権文化センター体育館をお借りし人権文化センターと共催で1泊避難体験を実施しました。その他出発仲間の会においても1泊訓練を行いました。

また2018年は大阪での災害が2回あったことから、BCP研究会でポジティブ生活文化交流祭前日に長居身体障害者スポーツセンターにおいて災害時にあったことなどを話し合いました。

○その他 50 件の講演、授業活動を行いました。

(2011 年 54 件、2012 年 44 件、2013 年 24 件、2014 年 41 件、2015 年 43 件 2016 年 41 件、2017 年 46 件)

<講演先>

1 月 16 日 17 日	大阪府 柏原市社会福祉協議会	8 月 25 日	京都府城陽市 京都手話通訳研究会
1 月 21 日	大阪府 寝屋川社会福祉協議会	8 月 26 日	石川県 NPO 法人あんとふる
1 月 23 日	堺市 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	9 月 7 日	高知市 高知県教育委員会
1 月 26 日	門真市社会福祉協議会	9 月 20 日	大阪市 住之江区社会福祉協議会
1 月 27 日	香川障害フォーラム	9 月 29 日	静岡県 NPO 法人御前崎災害支援ネットワーク
1 月 27 日	藤井寺市社会福祉協議会	10 月 9 日	京都大学医学研究科
1 月 28 日	四国中央市 自立支援協議会	10 月 12 日	大阪府堺市 南部障害者解放センター
2 月 1 日	堺市 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	10 月 13 日	大阪 青空ママ防災講座
2 月 6 日	横浜ラポール	10 月 17 日	大阪府危機管理室
2 月 10 日	日常生活支援ネットワークパーティ・パーティ	10 月 23 日	京都大学医学研究科
2 月 19 日 20 日	堺市ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	10 月 22 日	神戸 寺子屋
2 月 25 日	守口市	10 月 24 日	大阪府危機管理室
2 月 28 日	日常生活支援ネットワーク パーティ・パーティ	11 月 1 日	大阪府危機管理室
3 月 1 日	日常生活支援ネットワークパーティ・パーティ	11 月 3 日	自立生活センター HANDS 世田谷
3 月 21 日	パーソナルサポートセンター枚方	11 月 4 日	新居浜市社会福祉協議会
3 月 28 日	柏原市危機管理室	11 月 10 日	諫早 8 団体防災減災フォーラム
4 月 15 日	羽曳野市自主防災会	11 月 14 日	大阪府危機管理室
4 月 28 日	香川県 社会福祉法人ラーフ リール	11 月 15 日	大阪府危機管理室
6 月 24 日	徳島若竹手をつなぐ会	11 月 20 日	大阪府危機管理室
7 月 23 日	堺市 ゆめ風基金防災リーダー養成講座	11 月 24 日	香川県 社会福祉法人ラーフ リール
7 月 28 日	香川県 社会福祉法人ラーフ リール	11 月 25 日	藤井寺市社会福祉協会
8 月 7 日	奈良県立大淀養護学校	11 月 27 日	豊中市 サポートネットワーク
8 月 10 日 11 日	沖縄市社会福祉協議会	11 月 29 日	大阪府危機管理室
		11 月 29 日	茨木市障害者自立支援協議会
		12 月 1 日	岡山県総社市社会福祉協議会
		12 月 2 日	とちぎ地域生活サポート研究会
		12 月 8 日	京都府 NPO 法人ソーシャルアクションパートナーシップ

(3) 防災ネットワーク活動

- ① 東日本大震災直後から関西の障害者団体と協働で大阪救援本部を設立し、被災地救援活動や、被災者交流、東北～関西ポジティブ生活文化交流祭、街頭カンパなどの支援活動を行っています。街頭カンパ活動は震災直後から大阪なんばで毎月実施されました。今年度から毎月の街頭カンパは 3 月末で終了し、今後 9 月、12 月、3 月の第二土曜日に行うこととなりました。2017 年末までの募金総額は 5,190,878 円(今年度は 5 回計 203,547 円)で、延べ 3000 人を超す方々がボランティアとして活動に参加しました。

② 地元の啓発小学校（むくのき学園）の要請で長崎、福本が出向き授業を実施しました。

③ B C P研究会（協力）

引き続き大規模災害時における事業継続計画（B C P）策定研究に取り組みました。

④ おおさか防災ネットワーク

現在大阪では今後の災害に備えて、大阪の様々団体（社共、大阪ボラ協、日赤、防災士会、N P O団体、企業など）が連携して動けるようにネットワークを組んでいます。これまでは定例会に参加するのみだったのですが、2017年12月にゆめ風基金も世話役団体となることが決まりました。

（4）中学生プロジェクト——おおさか行動する障害者応援センターとの協働事業

障害者市民の地域防災を考える上で、中学生の参加を促したいと、2006年から地域の中学校や日赤、社協関係者と共に「中学生プロジェクト」（いのちと防災を考える「中学生の底力」ゆめ風プロジェクト）を実施しています。これまでおよそ3500人の中学生と、のべ430人の障害者が参加しました。2018年は中学校3校で実施しました。

1月15日、18日 豊川中学校

11月7日 大阪市立柴島中学校

11月19日、20日 大阪府摂津第2中学校



柴島中学にて



摂津二中にて

この活動をDVDにしました。現在販売・広報に力を入れています。

（5）障害者防災活動助成制度

2006年に開始した障害者市民防災活動の促進のための助成金制度については、2018年は7件申請があり4件承認し、総額185,078円の助成を実施しました。

NPO法人 a c c o m m o n 74578円

NPO法人 ワンハート 51500円

八団体防災・減災フォーラム実行委員会 35000円

特定非営利活動法人 難病心身障がい児者を支えるみなのかい 50000円

(6) 障害者防災提言集、事例集等の広報、販売をしました。

- 東日本大震災版障害者防災提言集 (2013年3月発行) 64冊販売
(2013年859冊、2014年469冊、2015年184冊、2016年193冊、2017年80冊)
- 旧提言集改訂版 (2012年12月発行) 53冊販売
(2013年385冊、2014年166冊、2015年122冊、2016年131冊、2017年90冊)
- 事例集こなんんええやん (2010年3月発行) 100冊販売
(2013年609冊、2014年222冊、2015年223冊、2016年219冊、2017年87冊)
- DVD「逃げ遅れる人々」(2013年2月東京救援本部制作) 1本販売
(2013年83本、2014年19本、2015年23本、2016年13本、2017年6本)
- 中学生プロジェクトDVD (2018年3月制作) 100本卸販売 61本販売 101本進呈

3. 被災障害者支援を広く訴える活動

(1) ニュズレター「ゆめごよみ風だより」(B5判8~16ページ)を季刊発行し支援者、関係者、関係機関団体に被災地発、障害者発の情報を届けました。東日本大震災以降、支援者は大幅に増え発送先は1万4700人にのぼっています。発行部数は1万6千部。発行回数は1月、5月、9月、12月の4回。

(2) 主催・共催事業

① 「カタログハウスの学校」と一緒に16年間続けてきた「ゆめ風であいましょう」は14回を数えました。2018年は7月19日に東京都新宿区で開催。呼びかけ人代表の小室等さん、詩人のアーサービナードさん、呼びかけ人のオオタスセリさん、李政美さん、こむろゆいさんに参加いただき「抵抗の言葉取り戻す」をテーマにトークと音楽を繰り広げました。200人以上の方が参加くださり好評でした。これを機にアーサービナードさんは呼びかけ人になってくださいました。

② 7月7日近畿労金ホールにおいて「サポートV報告会」を行う予定でしたが、台風のために中止しました。

③ 11月23日に第8回ポジティブ生活文化交流祭(60団体、3500人参加)を共催しました。

2011年11月から始まった交流祭、関西~被災地の障害者の交流を主眼に、すっかり定着しました。あいにくの空模様(前日が雨でかなりぬかるんでいた)にも関わらず、多くの参加者がおり、顔が見える関係の良さを年に一度再確認

(3) 各種メディアに情報発信

「救援活動」、「防災活動」、「ゆめ風基金の活動」、などについて発信しました。

4. 情報の収集、関係諸機関、団体との協力及び連絡調整事業

引き続き関係諸機関、団体との連絡調整活動を行いました。

主な関係団体（委員・役員就任ないしは協働関係）

大阪救援本部、東北大地震東京救援本部（DPI、JIL 他）、熊本地震障害者救援本部、障大連、共同連、関定協、被災地 NGO 協働センター、おおさか災害支援ネットワーク、東淀川区インクルーシブ教育研究会、BCP 研究会、東淀川 BCP 研究会、大阪ボランティア協会、大阪府教職員組合、大阪市職員労働組合、大阪市従業員労働組合 ほかのみなさま

5. その他目的を達成するために必要な活動

（1）シングルCD「ゆめ風応援歌」の販売

2018 年は 3 枚（2015 年 38 枚、2016 年 29 枚、2017 年 21 枚）販売しました。

（2）近畿ろうきん提携融資制度「ゆめのたね」実施

① 2018 年度の推薦団体

特定非営利活動法人 介護予防の星きずな 大阪市天王寺区

融資推薦日 2018 年 10 月 10 日 融資希望額 300 万円

2012 年、NPO 法人設立、2013 年より居宅介護、移動支援等の福祉サービス提供事業、就労支援 B 型、共同生活援助事業を開始。サービスを利用する障害者の親の高齢化等もあり、新たに共同生活援助(グループホーム)設立の要望が高まるが、大阪市には絶対数が不足し、やむなく高齢者向け有料ホーム等への入居を選択せざるを得ない状況である。そうした中、グループホーム設立により、本人・家族の負担が軽減され、あらたな生活の幅、地域での自立した生活が拡充することを期待して推薦した。

この他、2 団体について推薦を決定したが、その後、辞退・取り消しされた。相談件数は他に 5 団体。

②「ゆめのたね」対象拡大について近畿労金から以下の提案があった。

現在は NPO と社会福祉法人に限っている制度だが、2016 年度 2 月の法律改正により、金融庁から「一般社団法人非営利型、一般財団法人の非営利型については、労金業態として融資をしてもかまわない」という通達があり、ろうきんとしても、今回、対象を一般社団法人・一般財団法人の非営利型については融資の対象を広げる。それ以外については個別に協議という形にし、制度実施日については 7 月 1 日としている。

これを受けて、ゆめ風基金としても一般財団・一般社団等からの融資の相談があった場合、会計について公開するよう促し、承諾がとれれば OK とすることとした。

（3）「ゆめ風ネットワーク」

全国 54 の障害者団体がゆめ風ネットとして、災害時の窓口を引き受けてくださっていて、大変心強い存在です。2018 年年度のネットワーク数は 54 団体となっています。

6. 会員構成と会議の記録

①会員の構成

運営会員 17個人 54団体

通信発送会員 14701人(2017年14744人、2016年14700人、2015年14661人、2014年14562人、2013年14549人、2012年14356人)

(2019年1月領収書発行数3044人、2018年1月領収書発行数2276人 2017年3595人、2016年2529人、2015年2583人)

②会議

○第17回定時総会を3月24日大阪府堺市ビッグアイで行いました。
2017年度事業報告、決算報告、2018年度活動計画、定款変更、が承認されるとともに、役員改選を行いました。

○理事会を9回にわたって開催しました。

第1回 理事会 2018年2月26日(月)16:00～

第1号議案 2017年度事業報告

第2号議案 2017年度決算報告

第3号議案 2018年活動計画

第4号議案 2018年予算

第5号議案 ゆめのたねについて

その他

障害者への家具転倒防止の取り組みについて

ビデオ機材購入について

障大連との協力について

DVDについて

第2回 理事会 2018年3月24日(土)15:00～

於 国際障害者交流センタービッグアイ

第1号議案 被災地からの助成金申請について 石巻からの支援要請について

その他

第5回熊本全国支援会議報告

会員の確認について

第3回 理事会 2018年4月2日(月)16:00～

第1号議案 代表理事、副代表理事の選定について

第4回 理事会 2018年6月4日(月)16:00～

第1号議案 ゆめのたね対象拡大について

第2号議案 被災地支援について

島根地震について

熊本の障害者研修について

第3号議案 障害者市民防災助成金審査

NPO法人シニアSOHO世田谷からの申請

その他

中学生プロジェクトDVDの取り扱いについて

来年度定款変更について

ゆめ風ネット等への慶弔規定について

ゆめ風印の取り扱いについて

第5回 理事会 2018年8月8日(月) 18:00~

第1号議案 大阪北部地震助成金の件

申請件数 4件

社会福祉法人 ぽぽんがぽん

一般社団法人くらしといきがいにじ

社会福祉法人 花の会

災害要援護者救援 NPOレスキューアシスト

第2号議案 西日本豪雨助成金の件

団体助成金申請2件 レインボーアグリ 共同連えひめ

個人見舞金 申請 44件(8/2現在)

第3号議案 障害者市民防災助成金審査

未来の防災学生ボランティアセンター

NPO 法人 accommon

NPO 法人命のリレー普及会

NPO 法人 ワンハート

第4号議案 西日本豪雨被災地調査の件

第5号議案 大阪北部地震見舞金の件

その他

熊本全国支援会議について

第6回 理事会 2018年9月3日(月) 16:00~

第1号議案 ろうきんからの社会貢献預金(笑顔プラス)の預け入れのご要請の件

第2号議案 大阪北部地震見舞金の件

第3号議案 西日本豪雨助成金の件 団体助成金申請 5件

レインボーアグリ

ホハル

マインドこころ

いちご一会

みんな農園

個人見舞金

第4号議案 障害者市民防災助成金審査

NPO 法人 accommon

その他

熊本全国支援会議について

第7回 理事会 2018年10月10日(水) 15:00~

第1号議案 ゆめのたねについて

介護予防の星きずなからの申請について

第2号議案 西日本豪雨助成金の件

個人見舞金について

第8回 理事会 2018年10月22日(月) 16:00~

第1号議案 熊本地震支援金について

障害者がとともに暮らせる地域創生館支援について

第2号議案 東日本大震災支援金について

特定非営利活動法人 輝きからの申請について

第3号議案 西日本豪支援金について

団体助成金申請 3件(第6回理事会からの継続2件)

マインドこころ

みんな農園

放課後デイサービスあゆむ

報告 個人支援金について

- 第4号議案 北海道地震支援金について
 - 特定非営利活動法人 せたな共同作業所フレンドからの申請について
 - 株式会社 HYK（就労継続支援 B 型啓費所ベジタブル）からの申請について
 - かがやき工房からの申請について
- 第5号議案 北部地震支援金について
 - 社会福祉法人 鳩ヶ峰福祉会からの申請について
 - 個人見舞金について
- 第6号議案 ゆめのたねについて
 - NPO法人いちいちまる
- 第7号議案 障害者市民防災助成金審査
 - 八団体防災・減災フォーラム実行委員会
 - 特定非営利活動法人 難病心身障がい児者を支えるみなのかい
 - その他 東さんの育児休暇について
- 第9回 理事会 2018年12月12日（水）16:00～ 於 ゆめ風基金事務所
- 第1号議案 大阪北部地震について
 - 見舞金について
 - 社会福祉法人鳩ヶ峰福祉会グループホーム改修助成について
- 第2号議案 東日本大震災に関わる助成について
 - NPO法人ふよう土
- 第3号議案 2018年度補正予算について
- 第4号議案 2019年度活動計画と2019年度予算案について
- その他 来年度総会について
 - 人員体制について